

京都大学瀬戸臨海実験所振興會

水族館月報

No. 96

1960. 8月(9月5日)

録 事

8月2～7日 山路委員と高松研究員は関西電力の依頼によって同社多奈川発電所の冷却用海水導入路の暗渠に付着する生物を調査のため出張。

8月8～20日 山路・布施委員・高松研究員は、中海・美保湾・穴道湖の生物調査のため出張。

8月8日 田辺湾側に設置する船揚及び船着場の災害復旧工事入札のため京大技術課 相原弁一・西山敬男氏来所。9月に入札がおこなわれ、853,000円で高西組に落札。10日、この工事について白浜漁業協同組合の同意書を受領した。

8月9日 水族館増築申請のため宮谷監事・生駒委員が和可山財務部に出張。

8月10日 山本研究囑託(伝物館)標本蒐集のため北海道に旅立つ。

8月29日 台風16号が四国を縦断したため、長時間にわたり大雨はげしく、終日大浪が打ちよせた。海水取入口の捨石50余個流失の程度で、幸にも建物の被害は軽微に止まった。

同日 水族館玄関口の柱、たる木は白蟻の喰害をうけている上に、モルタル壁が所々龜裂を生じたり剥け落ちて、危険な状態にあるので、内部改造を機に壁を落^として修理にとりかかる。

8月31日 水色のタイルを張って化粧した新設の大水槽にはじめて水をはり、旧水槽の魚を移しかえた。槽内の水のめぐりもよく、魚の活きもよい。旧水槽は来月中に撤去の筈。

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研究費	—	46,471	
奨学金	—	60,000	
備品費	10,170	63,215	
消耗費	—	—	
刊行費	52,506	907,560	高松生物報告 No. 11, 12 Publ. vol. 8, No. 1
役務費	2,800	69,020	
合 計	538,030	1,146,266	

伝物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人件費	37,900	219,689	
備品費	—	1,200	
消耗費	—	2,350	
役務費	5,000	8,980	山本氏海鏡採集旅費
合 計	42,900	232,219	

臨時費

備 考	金 額	累 計
水族館連絡に関する推進費用	63,392	
合 計	63,392	172,438

支出合計

(今年度累計)

水族館経費	385,361	2,707,873
実験所経費	538,030	1,146,266
伝物館経費	42,900	232,219
臨時費	63,392	172,438
合 計	1,029,683	4,258,796

◎ 8月末現在高

前月よりの繰越	1,678,552
今月の収入合計	731,704
今月の支出合計	1,029,683
現 在 高	1,380,573

◎ 前年度との比較

	1959	1960	差 額
入 場 券 数	54,952	52,764	- 2,188

水族館記事

- ◎ 今月は魚の死亡が少なく、魚の購入も館内の模様替えのため、また、台風が災いして非常に少なかったので、あまり大きな変動はなかった。
- ◎ NO.23水槽のかわりの置水槽の土台は月末に完成したので、卓上水槽を設置して、小型の魚、無脊椎動物を入れた。また、NO.24水槽のかわりの大型ふかん水槽も完成したが、非常に大きな水槽なので大型の魚や、群をつくる魚を入れることがとくに望ましいようである。
- ◎ 28日にNO.29水槽のマダイが夜間にとび出して死亡した。このマダイは長らくNO.29水槽に飼育されている8尾のうちの小型の1尾で、二、三年前に入槽したものである。
- ◎ オオアカヒトデは原因不明の病気に冒されて10日頃迄に40体続々と死亡して全滅した。
- ◎ 卵からかえったばかりのアカウミガメの赤ん坊が11日に40体入槽した。
- ◎ ハナミノカサゴが上旬に1体入槽。
- ◎ 8月31日現在、概観水槽に収容飼育中の動物は総計119種、1379個体以上で、その内訳は次の通り。

ヒドロ虫類	1種、	フシツボ類	1種、	ヒトデ類	4種、
ウミトサカ類	3種、	エビ類	8種、	クモヒトデ類	1種、
ヤギ類	4種、	ヤドカリ類	3種、	ウニ類	10種、
イソギンチャク類	5種、	カニ類	6種、	ナマコ類	4種、
イシサンゴ類	8種、	二枚貝類	5種、	軟骨類	1種、
ハナギンチャク類	1種、	巻貝類	4種、	硬骨類	38種、
ホウキムシ類	1種、	アメフラシ類	2種、	カメ類	3種、
多毛類	2種、	タコ類	1種、		
カブトガニ類	1種、	ウミシタ類	2種、		

資 料

◎ 7月の気象 (9時観測)
南水槽室 (水温比重はN0.25水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数(26)	7	9	10
室 温(°C)	$\frac{24.3 \sim 27.4}{25.9}$	$\frac{25.5 \sim 28.2}{27.1}$	$\frac{27.9 \sim 30.1}{28.8}$
水 温(°C)	$\frac{24.53 \sim 25.73}{25.20}$	$\frac{24.51 \sim 26.76}{25.57}$	$\frac{26.79 \sim 27.93}{27.37}$
比 重(0.15)	$\frac{23.46 \sim 24.42}{23.89}$	$\frac{24.17 \sim 24.58}{24.35}$	$\frac{24.03 \sim 24.68}{24.43}$

取入口

水 温(°C)	$\frac{24.19 \sim 27.03}{25.65}$	$\frac{25.28 \sim 27.20}{25.97}$	$\frac{26.31 \sim 29.21}{27.67}$
比 重(0.15)	$\frac{23.92 \sim 25.07}{24.38}$	$\frac{24.03 \sim 24.81}{24.47}$	$\frac{24.50 \sim 24.93}{24.64}$

◎ 8月の気象 (9時観測)
南水槽室 (水温比重はN0.25水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数(24)	9	6	9
室 温(°C)	$\frac{27.0 \sim 29.6}{28.6}$	$\frac{25.1 \sim 28.9}{27.1}$	$\frac{26.1 \sim 30.2}{28.3}$
水 温(°C)	$\frac{27.73 \sim 29.60}{28.07}$	$\frac{25.76 \sim 27.53}{27.00}$	$\frac{26.27 \sim 27.93}{27.28}$
比 重(0.15)	$\frac{24.43 \sim 24.78}{24.61}$	$\frac{21.34 \sim 24.97}{23.27}$	$\frac{21.74 \sim 25.07}{24.11}$

水 温(°C)	$\frac{28.01 \sim 28.95}{25.81}$	$\frac{26.89 \sim 27.93}{27.32}$	$\frac{27.00 \sim 28.31}{27.59}$
比 重(0.15)	$\frac{24.64 \sim 25.07}{24.82}$	$\frac{21.02 \sim 24.89}{23.64}$	$\frac{21.22 \sim 25.12}{24.22}$

来 訪 録

- 8月3日 須磨水族館奥野良之助氏外4名 魚族採集のため来館、援助を乞わる。
- 8月6～7日 日本貝類学会近畿地区白浜講習会が伝物館階上で開催され、約50名が参加し講演と翌7日田辺湾内神島・畑島で貝類採集を興せし盛会であった。
- 8月6～8日 NHKテレビは「自然のアルバム」撮影のため来館。
- 8月8～9日 和可山県高校理科研究会員24名来所、岨海実習実施。
- 8月22日 京都大学地球物理学教室速水頌一郎教授は福尾国司両氏同伴、本邦では海上最初の試みである台風津浪その他防災研究のための観測塔設置位置決定のため来所。田辺湾側の江津良沖の5m深の岩盤上が適当と認められた。
- 8月30～31日 朝日新聞社の青井竹二郎氏 水族館の動物撮影のため来館。クマノミの生態とヤドカリの象牙がしの状況を詳細にとらえていた。

昭和35年9月5日 (NO. 96)

編集兼
発行者

山 路 勇

発行所

瀬戸臨海実験所
和可山県白浜町
瀬戸臨海実験所内
(Tel.白浜温泉 515)